

Q45. 今回の、アンケート調査や討論イベントに参加した感想を教えてください。

1. 大変よかった
2. まあまあよかった
3. あまりよくなかった
4. よくなかった
5. わからない

Q46. 今回のアンケートと討論を組み合わせる方法は、国民の意見を適切に把握する方法として有効だと思いますか。

1. 大変有効である
2. まあまあ有効である
3. あまり有効ではない
4. まったく有効ではない
5. わからない

Q47. その理由を教えてください。

(自由回答)

Q48. 実行委員会では、公正・中立な運営を心がけましたが、問題はありませんでしたか。

1. まったく問題ない
2. ほとんど問題ない
3. やや問題がある
4. かなり問題がある
5. わからない

Q49. 専門家の人選は適切だったと思いますか。

1. 適切である
2. おおむね適切である
3. あまり適切でない
4. 適切でない
5. わからない

Q50. 事前にお送りした資料は、ご覧いただけましたか。

1. よく読んできた
2. まあまあ読んできた
3. あまり読んできていない
4. まったく読んできていない

Q51. 資料の内容は、理解できるものでしたか。

1. よく理解できた
2. 少し理解できた
3. あまり理解できなかった
4. まったく理解できなかった

最後に、エネルギー選択について、あるいは、今回の討論イベントやアンケート調査についてご意見がございましたら自由にお書きください。

(自由記述)

質問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。なお、討論イベントに参加いただいた方には、9月以降、こうした熟議型の参加手法を改善していくため、より詳しいご感想やご指摘を頂戴するための追加アンケートをお願いする場合がございます。ぜひとも、皆様のご協力お願いいたします。

- 追加アンケートに協力してもよい
- 協力できるかわからないが、取りあえずアンケートは送ってほしい
- 協力したくない

※いずれかを囲んでください。

エネルギー・環境戦略 市民討議 実行委員会
アンケート調査 (2012年8月)

整理番号



市民の選択 エネルギー・環境戦略

T3

このたびは、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。
アンケート調査の過程でご提供いただきました内容は、
個人と回答が一致しない形で統計的に処理し、数値としてまとめますので、
回答内容やお名前が外部に公表されることは一切ありません。

<回答記入に関して>

1. 氏名、住所、電話番号など個人を特定するような情報の記入は必要ありません。
2. ご回答される際に、他の人に聞いたり、資料を読んだりして答える必要はありません。あくまでも、ご自身のお考えでお答えください。
3. ご回答は、アンケート用紙の当てはまる番号に直接マル○をつけてください。
4. 一度お答えになった質問は、戻ることなく、順番通りにご回答ください。

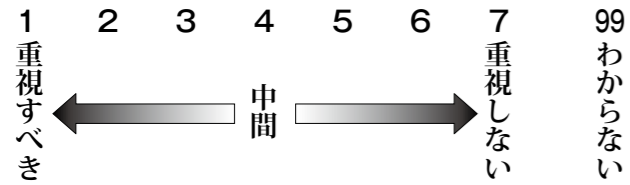
* 本日の討論イベントにご参加にいただいた経験をもとに、あなたの意見をお聞かせください。いま、この時点のご意見やお考えにそって、ご回答ください。

次のページから質問が始まります

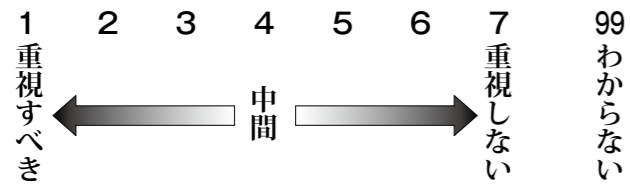
Q1. ~ Q3. は省略します

■日本の中長期（2030年～2050年）エネルギー問題や環境問題について考える際に、以下に挙げる主な視点について、どれくらい重視すべきだと思いますか。あなたのお考えに近い番号にマル〇をつけてください。

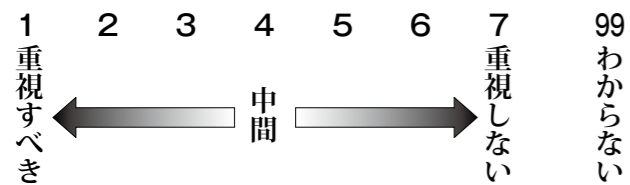
Q4. エネルギーや環境問題を考える際に「安全性」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



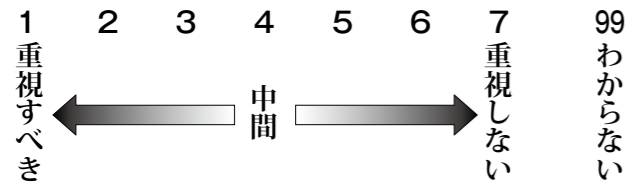
Q5. 「エネルギー安全保障」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



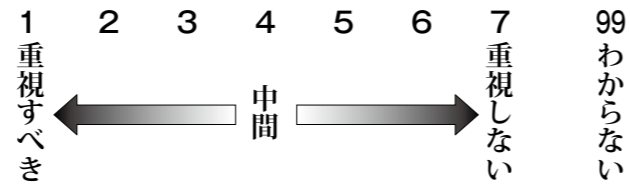
Q6. 「原子力発電などの技術による世界への貢献」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



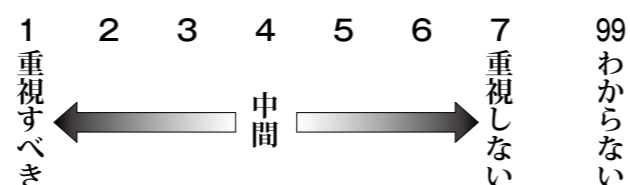
Q7. 「経済性（コスト）」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



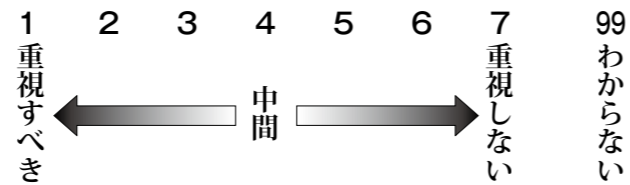
Q8. 「地球温暖化問題への対応」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q9. 「エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q10. 「世代間公平（未来世代への責任）」の視点はどれくらい重視すべきだと思いますか。



Q11. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、あなたが一番重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル〇をつけてください。

- () 安全性
- () エネルギー安全保障
- () 原子力発電などの技術による世界への貢献
- () 経済性（コスト）
- () 地球温暖化問題への対応
- () エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- () 世代間公平（未来世代への責任）

Q12. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、2番目に重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル〇をつけてください。（ただし、Q11で答えた回答は除く）

- () 安全性
- () エネルギー安全保障
- () 原子力発電などの技術による世界への貢献
- () 経済性（コスト）
- () 地球温暖化問題への対応
- () エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- () 世代間公平（未来世代への責任）

Q13. エネルギーや環境問題を考えるにあたって、3番目に重要だと思う視点はどれですか？ 一つ選んで、（ ）にマル〇をつけてください。（ただし、Q11・12で答えた回答は除く）

- () 安全性
- () エネルギー安全保障
- () 原子力発電などの技術による世界への貢献
- () 経済性（コスト）
- () 地球温暖化問題への対応
- () エネルギーイノベーションやグリーンエコノミーの実現
- () 世代間公平（未来世代への責任）

Q14. ここまでの質問で挙げた視点以外でエネルギーや環境問題を考えるにあたって、あなたが重要だと思う視点があれば、教えてください。

(自由回答)

■政府では、原発依存度に関する選択肢、使用済み核燃料の処理方法に関する選択肢、温暖化対策に関する選択肢をそれぞれ検討してきました。以下の設問のうち、あなたのお考えに近い番号にマル〇をつけてください。

Q15. 2030年頃の発電における電源構成のうち、原子力の比率は、どの程度がよいと思いますか。

1. 原発比率を早期にゼロとして、2030年0%程度を目指す
2. 原発は依存度を低減し、2030年15%程度を目指す
3. 原発への依存度を低減するものの、一定程度維持し、2030年20%～25%程度を目指す
4. 該当なし
99. わからない

Q15-1. 日本は、基本的な方向として、いずれ原子力依存から脱すべきか、脱すべきでないかという点では、どのように考えますか。

1. 原子力依存から完全に脱していくべき
2. 限りなく原子力依存は低くするものの、完全には脱するべきではない
3. 原子力はこれからも重要な電源として位置づけ、完全には脱するべきではない
4. わからない

Q15-2. 原発比率を可能な限り低減させていく場合は、どれくらいの期間をかけて行すべきだと思いますか。

1. ただちにゼロ（再稼働しない）
2. 8年以内（2020年頃ゼロ）
3. 18年以内（2030年頃ゼロ）
4. 28年以内（2040年頃ゼロ）
5. 38年以内（2050年頃ゼロ）
6. 38年以降（2050年以降ゼロ）
7. ゼロにせず一定維持
8. 該当なし

Q16. 使用済み核燃料の処理方法については、どの方法がよいと思いますか。

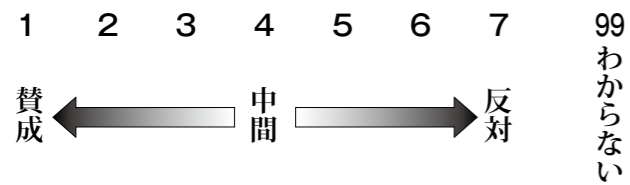
1. 一度使った核燃料は、地中に埋めて処分する（直接処分）
2. 核燃料として、もう一度再利用する（再処理）
3. 直接処分と再処理の組合せ
99. わからない

Q17. 国の地球温暖化対策は、どれくらいの強度で進めるべきだと思いますか。

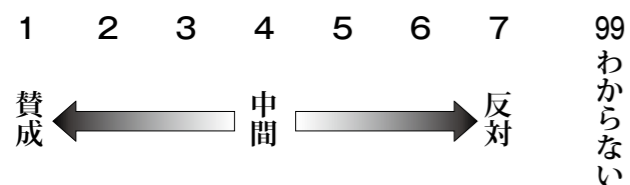
1. 高い目標を設定して、達成するための努力を最大限行う
2. 可能な範囲で新たな誘導策や義務などを課し努力する
3. 現在取り組んでいる対策や想定されるもので進める
99. わからない

■エネルギー・環境の選択に関わる個別の問題についてお伺いします。以下の設問のうち、あなたのお考えに近い番号にマル〇をつけてください。

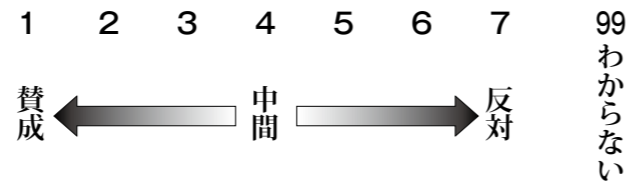
Q18. 安全のための対策・技術を強化したとしても、原発は最悪の事故につながる恐れがあるため、受け入れるべきではないという意見には賛成ですか。



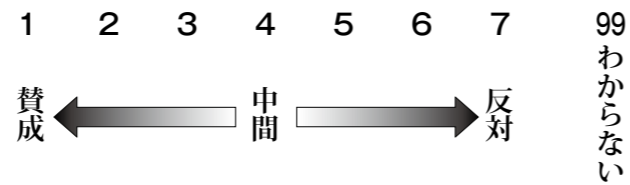
Q19. 安全のための対策・技術を強化し、事故リスクを最小限にとどめることを前提に、原発は利用していくべきという意見には賛成ですか。



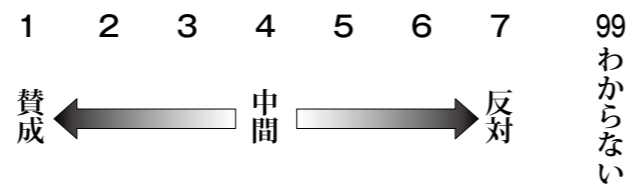
Q20. エネルギーの安定供給は、安全性や経済性、温暖化対策のどれよりも優先すべきという意見には賛成ですか。



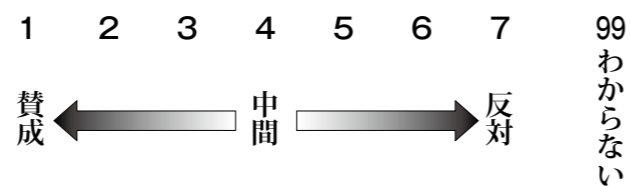
Q21. 中国やアジア諸国で原発の建設が増えていくなかで、安全を担う技術や人材を確保していくためには、国内の原発を維持していくべきという意見には賛成ですか。



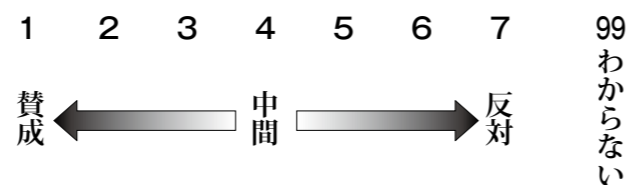
Q22. 再生可能エネルギーの大幅な導入までは、時間がかかるため、一定期間は原発を利用することはやむを得ないという意見には賛成ですか。



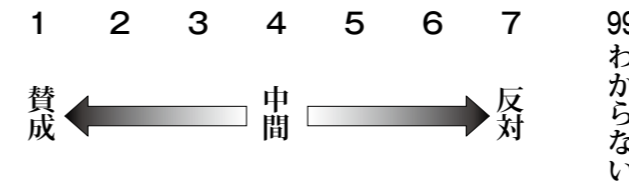
Q23. なるべく早期に原発ゼロを実現するためには、石油などの化石燃料への依存度が一時的に高まってもやむを得ないという意見には賛成ですか。



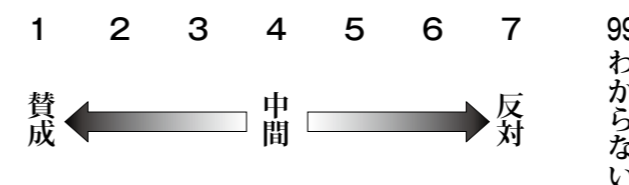
Q24. 再生可能エネルギーの大幅な導入については、将来への投資とみなして、公的な費用負担の対象とすべきという意見には賛成ですか。



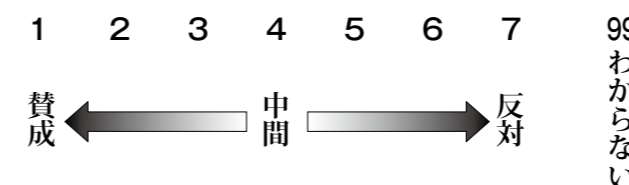
Q25. 再生可能エネルギーの大幅な導入のためには、さしあたって現世代によるコスト負担はやむを得ないという意見には賛成ですか。



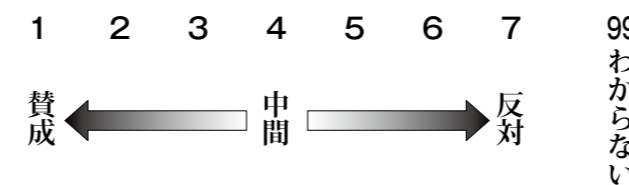
Q26. より早期に原発ゼロにしてしまうと、石油などの火力に頼る必要があるため、電気代のコスト高により国内の産業の空洞化が進むという意見には賛成ですか。



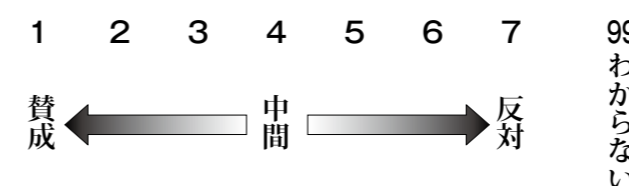
Q27. 経済成長や雇用を守っていくためには、原発を維持していくべきという意見には賛成ですか。



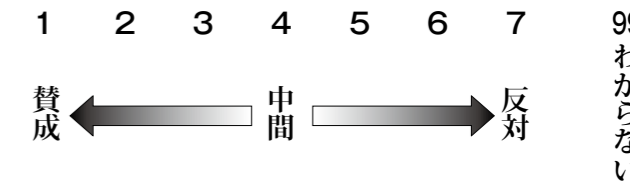
Q28. どんなエネルギーを選択したとしても、温暖化対策を優先すべきという意見には賛成ですか。



Q29. より早期に原発ゼロに近づけていくためには、石油などの火力に頼っていく必要があるため、CO₂の削減の取り組みは、遅れてもやむを得ないという意見には賛成ですか。



Q30. 日本が掲げていた2020年温室効果ガス25%削減の目標値は、取り下げることやむを得ないという意見には賛成ですか。

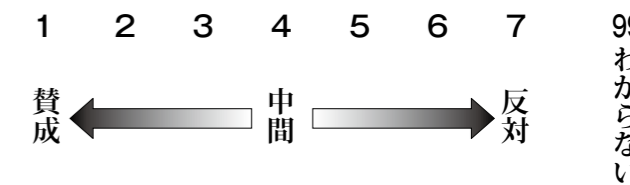


Q31. 原発依存の低減には、再生可能エネルギーの施設整備、優先買取政策の導入、化石燃料の依存度上昇などによるコスト負担が必要という意見があります。では、家庭の電気代が現在よりも〇〇%以上も上がるのであれば、追加的な政策をすべきでないと思う数字は、次のうちどれですか。

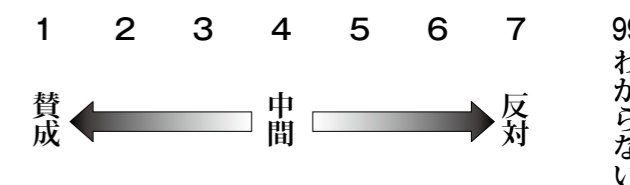
(標準モデル：標準的な4人世帯の家庭電気代を2010年時点で1万円とした場合)

1. 40%以上（標準モデル：月額4,000円）
2. 30%以上（標準モデル：月額3,000円）
3. 20%以上（標準モデル：月額2,000円）
4. 追加的な負担は受けたくない
99. わからない

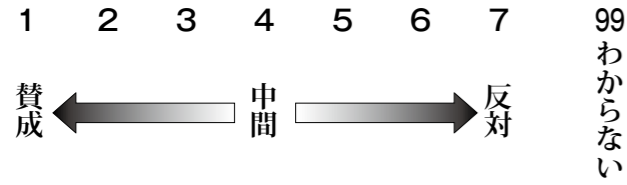
Q32. 使用済み核燃料は、核燃料サイクルの実現によりウラン資源の有効活用が可能であるため、引き続き技術開発を続けるべきという意見には賛成ですか。



Q33. 使用済み核燃料は、処分方法が未解決のため、これ以上原発に依存すべきではないという意見には賛成ですか。



Q34. この夏に将来の原発の依存度を決定したとしても、2030年頃に、世界情勢や国内の経済社会の状況により再度見直していくべきという意見には賛成ですか。



Q35. 将来のエネルギー・環境の姿に照らして、あなたが好ましいと考えるシナリオは、政府が公表した次の3つのうちどれですか。

1. ゼロシナリオ
2. 15シナリオ
3. 20-25シナリオ
4. 該当なし
99. わからない

Q36. Q35の回答は、どの程度確信をもって選択できましたか。

1. 大いに確信を持って答えた
2. やや確信を持って答えた
3. あまり確信なし
4. 確信なし

Q37. 政府が示した3つのシナリオは、エネルギーの選択を考える上で、議論にふさわしい比較可能な選択肢として、ふさわしいものでしたか。

1. 十分ふさわしい
2. ややふさわしい
3. あまりふさわしくない
4. ふさわしくない

※3.あまりふさわしくない、4.ふさわしくない とお答えの方のみ Q37-1 もお答えください。

Q37-1. あまりふさわしくない、ふさわしくないと思った理由は、次のうちどれですか。

1. 選択肢の数が少ない
2. 自分の考えているものがない
3. 原発の比率だけが強調されている
4. よい影響や効果が見えてこない
5. 日本の将来像や社会像とのつながりが見えない
6. 具体的な実行策が示されていない
7. シナリオの決め方や手続きが十分でない
8. 国民の意見が反映されていない
9. 2030年以降の原発比率が示されていない
10. 国民的議論の結果をどう政策に生かすのが示されていない
11. 前提とする経済成長率が政府の成長戦略と整合しない
12. その他 []

Q38. 政府が示した3つのシナリオはどれくらい理解できるものでしたか。

1. 十分理解できた
2. やや理解できた
3. あまり理解できなかった
4. まったく理解できなかった

※3.あまり理解できなかった、4.まったく理解できなかった とお答えの方のみ Q38-1 もお答えください。

Q38-1. 理解が難しかった理由は、次のうちのどれですか。

1. 書いてある内容が専門的すぎる
2. 専門的な内容が書かれていない
3. 情報が多すぎる
4. 情報が少なすぎる
5. 知りたい情報が載っていない
6. なにを問われているのかがわからない
7. その他 []

Q39. 7月上旬に実施した最初(T1)のアンケートに記入した時に比べ、この最後のアンケートでは、どれくらい自分の意見が確かなものになりましたか。

1. より確かなものになった
2. 少し確かなものになった
3. あまり確かなものにはならなかった
4. まったく確かなものにはならなかった

Q40. 今のあなたの意見に最も影響を与えたのは次のうちのどれですか。

1. 事前に送られてきた資料集
2. 当日の選択肢の経緯・背景の説明
3. 小グループ討議(1回目)
4. 全体会での専門家との質疑応答(1回目)
5. 小グループ討議(2回目)
6. 全体会での専門家との質疑応答(2回目)
7. 特になし

Q41. この1か月ほどであなたの意見を確かなものにしたのは、どれですか。(複数回答可)

1. テレビや新聞などの報道
2. シンポジウムや集会への参加
3. 関心を持って購入した書籍や文献
4. 家庭や職場の同僚との会話
5. 国会での議論
6. インターネット上の書込み(ツイッターやSNS)
7. 今回のアンケートや討論イベントへの参加
8. その他 []

Q42. 政府は、6月下旬から国民的議論を開始し、夏をめどに決定するとしていますが、国民的議論の期間についてどう思いますか。

1. 長すぎる
2. やや長すぎる
3. ちょうどよい
4. やや短い
5. 短すぎる
6. わからない

Q43. エネルギー・環境に関する議論は、今後も続けていく必要がありますが、さらに国民全体で議論していくとしたら何を最も重視して議論していくべきだと思いますか。(複数回答可)

1. 原発をどうやって減らしていくべきか
2. どんな国や社会にしていきたいか(社会像やビジョン)
3. 社会がどこまで負担や制約を受けられるか
4. 原発の安全性をどう高めていくか
5. エネルギー・環境の議論の進め方はどうあるべきか
6. 将来世代が望む豊かさとはなにか
7. 温暖化対策をどれくらい進めるべきか
8. 使用済み核燃料の処分をどうすべきか
9. 該当なし
10. わからない

Q44. 以下の設問で内容が正しいと思うものには○、誤りであると思うものには×をつけてください。

- () 日本のエネルギー資源の自給率は約50%程度である
- () 条件付きながら、日本は2020年までに温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減することを国際公約としている
- () 日本のエネルギー供給(最終消費)は、約4割が電気の形で行われている
- () 電気は、原子力、火力、水力、太陽光や風力などの自然エネルギーなど様々なものをミックスしてつくっている
- () 3.11前は、日本の電気の約3割は原子力によってつくられていた
- () 火力発電の主な燃料は石油・石炭であり、天然ガス(LNG)は含まれない
- () 今年7月、太陽光、風力など再生可能エネルギー源を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務づける制度がスタートした